



新生

ニュースレター

# 人生ピンチヒッター友の会

2019 秋

『人生ピンチヒッター』の理念は、

顧問：樋野興夫

1) 「誰にも悪意を抱かず、すべての人に慈愛の心」(リンカーン) をもって、2) 「チャンスを提供」することであろう。

『人生ピンチヒッター』の3か条は、

1. 『人に接する呼吸を得ている者』2. 『性格の悪くない者』3. 『無規則で始める勇気と胆力を有する者』であろう。

これは、新渡戸稲造が、国際連盟事務次長の時、「国際連盟事務総長：ドラモンド」から、学んだことでもある。



先日、あるカフェに参加した際に、言葉の処方箋が話題になりました。

「八方塞がりでも、天は開いている」とか「人生いばらの道、されど宴会」といった言葉が並び、ある方が『to do の前に to be』という言葉が今の心の支えになっている」と話されました。

樋野先生からいただいた言葉の処方箋はどれも大切なものばかりですが、どんな時も「ユーモア (humor) = ユー・モア (you more) あなたをもっと大切に」という言葉を忘れずにありたいものです。

東村山がん哲学外来メディカル・カフェ：大弥佳寿子

9月22日、第6回池袋カラオケ大会に参加しました。美味しいお料理を食べながら、全42曲の大熱唱でした。中でも樋野先生の歌声は、低音で優しく素晴らしかったです。また、皆さんの歌や踊りは、楽しくとても幸せな時間が流れていました。その中私は、以前受けた肺の手術のために歌うことができなかったのですが、幹事様からは「ぜひ次回も参加してください。歌われずとも、心を合わせて楽しんでいただければ、きっと他の方々にも楽しさが伝わって、素敵な雰囲気は形作られるはずですよ。がん哲学外来らしくて良いと思います。」という温かいお言葉を頂きました。「人生思い出作り！」こんなにも温かく素敵な会に参加できたことに感謝しています。樋野先生はじめ参加者の皆様、そして幹事様ありがとうございました。

岡倉天心記念・巣鴨メディカルカフェ「桜」 山本ひろみ



13年前、江東区と江戸川区の境を流れる旧中川（荒川の支流）沿いに転居してきました。毎朝、歩いて15分位の亀戸中央公園のラジオ体操に行くのにこの川沿いを通ります。越してきてまもなく、歩いている横を黒い大きなものが泳いでいる気がして見ていると何とも愛嬌のある顔をした「カワウ」でした。初めて会ったカワウ、東京にこのような鳥がいたのは知りませんでした。カワウは羽に防水機能がないので、一度潜るとこんなふうに羽を広げて長い間日光浴をしています。

カワウに出会ったのが野鳥に興味を持ったきっかけです。川面に、そろそろ冬鳥たちが帰ってきます。これから野鳥を楽しむ絶好の季節なのでわくわくしています。

丘の上のカフェ・シャローム 石井瑠美



目白カフェ 森尚子

致します。

この度、人生ピンチヒッターニュースレターを年4回「春・夏・秋・冬」、東村山カフェの大弥さん、丘の上のカフェの石井さん、岡倉天心記念巣鴨カフェ「桜」の山本さんと発行してゆきます。どうぞよろしくお願ひ

